

科目名称	柔道整復学実習
授業コード	BH361
英語名称	Reposition by Judo practice 2
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	行田 直人, 松本 宗三, 藤原 基
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	柔道整復師として施術録の記載法の実習を行う他、身体各部の触診・徒手検査法や外傷評価法について実習を行う。具体的には、施術録（カルテ）記載方法の教授、体幹部（頸部、腰部）・上肢帯・下肢帯の徒手検査法、関節可動域測定法、筋力測定法を実習を通じて教授する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床経験豊富な非常勤講師（松本；接骨院院長、柔道整復師）および本学教員（行田、藤原；柔道整復師）が臨床現場で行う施術録の手法を演習を通じて教授する。
到達目標	柔道整復師として施術録（カルテ）記載法についての理解および各種検査法等を理解し、実践できる能力を身につける。また、解剖学、生理学や柔道整復系科目と関連する内容についての結びつきを理解し、各検査法等についての理解を深める。カリキュラムポリシーに掲げる「外傷施術を科学する探究心」を涵養するために、これらについて臨床現場で役立つ技術を理解する。臨床現場での経験を有する柔道整復師が実習を行う。
計画・内容	<p>1) ガイダンス 本実習の内容について 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：施術録記載方法について調べること</p> <p>2) 施術録（カルテ）記載法について 問診 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師）予習・復習： 施術録の記載事項について理解しておくこと</p> <p>3) 施術録（カルテ）記載法について 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師）予習：施術録の記載 ができるようにしておく 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>4) 身体各部の触診 頸部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：頸部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>5) 身体各部の検査 頸部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：頸部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>6) 身体各部の触診 肩部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：肩部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>7) 身体各部の検査 肩部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：肩部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>8) 身体各部の触診 腰部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：腰部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>9) 身体各部の検査 腰部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：腰部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>10) 身体各部の触診 大腿部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：大腿部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>11) 身体各部の検査 大腿部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：大腿部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>12) 身体各部の触診 膝部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：膝部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>13) 身体各部の検査 膝部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：膝部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>14) 身体各部の触診 下腿部 担当教員：行田・藤原・松本（柔道整復師） 予習：下腿部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p>

計画・内容	<p>15) 身体各部の検査 下腿部 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：下腿部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>16) 身体各部の触診 足部 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：足部の触診について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>17) 身体各部の検査 足部 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：足部の検査について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>18) 関節可動域測定 体幹 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：体幹の関節可動域測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>(19) 関節可動域測定 上肢 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：上肢の関節可動域測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>20) 関節可動域測定 下肢 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：下肢の関節可動域測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>21) 関節可動域測定 復習 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：関節可動域測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>22) 徒手筋力測定 上肢 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：上肢の徒手筋力測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>23) 徒手筋力測定 下肢 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：下肢の徒手筋力測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>24) 徒手筋力測定 復習 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：徒手筋力測定について調べておくこと 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>25) 実施課題 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>26) 実施課題 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>27) 実施課題 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>28) 総合復習 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>29) 総合復習 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p> <p>30) 総合復習 担当教員：行田・藤原・松本(柔道整復師) 予習：これまでの実習内容について理解を深める 復習：前回の内容を理解しておくこと</p>
授業の進め方	<p>毎回、実習内容について教員が解説(デモ等)を行う。学生は、毎回の実習時間内に与えられた内容について、学生同士でグループ分け(患者役と施術者役となり)を行い実習する。 コロナウイルスの状況により、本講義はcampus square上での課題学習、オンライン講義等で行う。</p>
能動的な学びの実施	<p>グループ分けを行い、課題について全員でディスカッションを行い、解決案を導いていく。</p>
授業時間外の学修	<p>予習・復習は、各授業毎に習った内容について合計60時間以上行うこと。 予習：講義終了後に予習内容を通知する 復習：講義にて特に重要な箇所を指示する。</p>
教科書・参考書	<p>教科書 「柔道整復学・理論編」第7版、「柔道整復学・実技編」(南江堂) 柔道整復学外傷学ハンドブック 上肢の骨折・脱臼(医道の日本社) その他、必要に応じて教員が資料を配布する。</p>
成績評価方法と基準	<p>実習内レポートまたは小テスト(20%)、実技試験(80%)を総合して評価する。</p>
課題等に対するフィードバック	<p>評価結果の悪かった学生は個別に助言指導を行う。</p>
オフィスアワー	<p>Campus Squareを参照すること。</p>
留意事項	<p>各自、教授した実習内容を復習しておくこと。 これまで学んだ柔道整復学や解剖学の知識が必要である。</p>

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	各講義に用に関してzoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。課題レポート20%および掲示機能を用いた定期試験80%により評価する。
------------------------------------	---